# サプライヤー（協力工事店）との価値共創

日工のプラント事業は、製品を納入して終わるビジネスではありません。プラントの据付、改造、補修、更新、さらには稼働後のメンテナンスまでを通じて、お客様の生産活動を長期にわたり支え続けることが求められます。その価値提供を現場で実現しているのが、全国206社の協力工事店とのネットワークです。

日工は協力工事店を単なる外注先ではなく、品質・安全・納期・顧客満足をともに創るパートナーと位置付けています。技能者不足や高齢化が進む中、この強固な施工ネットワークは、供給力、メンテナンス対応力、ストック収益拡大を支える重要な経営資本です。日工は協力工事店との価値共創を通じて、現場力をさらに高め、持続的な企業価値向上につなげていきます。

### 1. 日工グループの現場力を支える全国206社の施工ネットワーク

日工のプラント事業において、協力工事店とのネットワークは、お客様への価値提供を現場で実現する重要な事業基盤です。アスファルトプラントやコンクリートプラントは、納入後も据付、補修、更新、メンテナンスなどの継続的な支援を必要とします。日工には、1989年に発足した協力工事店組織「アキツ会」があり、現在、全国206社が加盟しています。

### 2. 施工ネットワークとともにつくる品質・安全・納期

施工品質を安定的に確保するため、日工では営業、設計、製造、サービスの各部門と協力工事店が施工前から密接に連携しています。工事内容、工程、搬入条件、重機配置、安全上の注意点などを事前に確認し、現場リスクを洗い出します。また、安全と品質を最優先事項とし、安全講習、危険予知活動、施工不具合の情報共有を継続しています。

### 3. ストック収益を支える無形資産

協力工事店ネットワークは、日工のメンテナンスサービス事業を支える重要な無形資産です。全国各地で迅速な補修・更新対応を可能とすることで、お客様の設備停止リスクを低減し、安定操業に貢献しています。

### 4. 人手不足時代における供給力確保

技能者不足や高齢化が進む中、供給力の確保は重要な経営課題です。日工は、協力工事店とともに技能の標準化、若手の育成、施工計画の高度化、デジタル活用を進めています。

**協力工事店との価値共創と日工の企業価値**

**協力工事店ネットワーク（供給力）**
- アキツ会加盟 206社
- 全国施工網
- ベテラン技能者
- 現場ノウハウ
- 地域対応力
- 顧客現場理解

→ 長期的信頼関係・共育・情報共有

**価値共創活動**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 品質共創 | ◆施工標準化<br>◆技術講習<br>◆不具合共有 | 安全共創 | ◆安全教育<br>◆KY（危険予知）活動<br>◆ヒヤリハット事例の共有 |
| 供給力共創 | ◆繁忙期対応<br>◆緊急補修<br>◆全国応援体制 | DX共創 | ◆施工記録データ化<br>◆工程共有<br>◆ナレッジ蓄積 |

→

**顧客提供価値**
- 納期遵守
- 品質安定
- 故障時迅速対応
- 稼働率向上
- 設備停止リスク低減
- 顧客プラントのLTV向上

→

**収益・生産性への寄与**
- メンテナンス売上増
- 更新工事増
- リピート率向上
- 手戻り削減
- 工期短縮
- 人員最適配置

## 今後の課題と対応―持続可能な施工体制の構築に向けて

国内の建設・設備業界では、技能者の高齢化や若手人材の不足が進行しており、施工能力の確保は業界共通の課題となっています。日工においても、協力工事店を含むサプライチェーン全体で、将来にわたり安定した供給力を維持できる体制づくりが重要な経営課題です。

こうした課題に対応するため、日工は協力工事店との「共育」を軸に、施工体制の高度化を進めています。若手技能者の育成では、安全教育、OJT、施工事例の共有を通じて、現場で必要な技能を体系的に習得できる環境づくりを推進しています。また、ベテラン技能者の暗黙知を作業手順書や施工記録として標準化し、個人依存を減らすことで、技能継承のシステム化を進めています。

**課題**
- 技能者高齢化 → 技能継承リスク
- 人手不足 → 供給制約リスク
- 事業承継 → 施工網縮小リスク
- DX格差 → 生産性格差リスク

**対応**
- 若手育成 → 現場力強化
- 技能標準化 → 品質安定化
- デジタル活用 → 生産性向上
- 協力会社支援 → 供給力維持

## サプライヤーVOICE　株式会社日本高機 リーダー　今村祐介様



安全表彰を受賞された
日本高機・今村祐介様（写真右）
（写真左は日工・関東支店長 松下由徳）

現場では、「安全なくして品質なし」を合言葉に、どのような工事でも全員が無事に作業を終えることを最優先に取り組んできました。急な対応が求められる場面でも、安全確認や基本動作を徹底することが、お客様からの信頼や安定した施工品質につながると考えています。

今後も日工グループとの価値共創を通じて、安全文化と技能を次世代へ継承し、持続可能な施工体制づくりに貢献します。